

# 東京教区時報

第1098号  
2008年10月26日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代祷・信施奉献先  
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストーリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10月第3主日10・19)▽社会事業の日(10・26)

◇教区墓地礼拝(司祭名は主任者)  
▽11月1日(諸聖徒日・土)・八柱霊園10時▽神崎雄二司祭・染井墓地11時▽下条裕章司祭・谷中墓地14時▽笹森田鶴司祭・青山墓地14時▽大畑喜道司祭・雑司ヶ谷墓地14時▽河野裕道司祭・八王子/東京/南多摩霊園14時▽加藤俊彦司祭・上川霊園11時▽前田良彦司祭  
▽3日(月・休

日)・小平霊園10時半▽井口諭司祭(※)・春秋苑10時半▽神崎和子司祭・多磨霊園14時▽吉野秀幸司祭 ※▽最寄駅西武線「小平」駅前▽教区墓地間にシャトルバス運行(往路・復路各3便▽無料)「照会などは教区事務所教務主事宛に」

### ▽神田キリストヘマーガレット

トコンサート合唱演奏会 11月1日(土)14時。指揮・オルガン 和田純子。入場料千円。予約TEL 045(4991)6661。  
◆とこしえの平安  
10月8日 市原満佐子(69) 聖マルチン  
中部教区市原信太郎司祭ご母堂  
10月15日 森 裕子 (80) 三光

### 今週・来週の予定

10月26日~11月8日

- 26(日) 聖霊降臨後第24主日 主教巡回 千住基督教会(聖バルナバ)
- 27(月) 人権委員会(聖三)
- 28(火) 銀座朝拝会(八王子)
- 29(水) 財政委員会(聖三一)
- 30(木) 山手G牧師協議会(多摩G牧師協議会)
- 31(金) 信徒講座②=講師 山口里子(教区会館) HP小委員会 信仰と生活委員会
- 11月1(土) 教区墓地礼拝 聖霊降臨後第25主日 主教巡回 東京諸聖徒教会
- 2(日) 教区墓地礼拝 常置委員会(臨時)
- 3(月・休) 教区企画室 エルサレム教区協働委員会
- 4(火) 教区墓地礼拝 人権委員会(日の丸・君が代)
- 5(水) 常置委員会(臨時)
- 6(木) 教区墓地礼拝 常置委員会(臨時)
- 7(金) 教財務サービス委員会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

だれかの「思い」に心を動かされた経験はありませんか？ 大人になったら、心はそう簡単に動かされたりはしなくなるものです。しかし突然、「思い」と出会い、引かれ、あるいは巻き込まれ、いつのまにか想像もつかなかった別の場所に移される、なんてことは…？

### 心の引力

齋藤 武士

《恵みに生かされて》  
ん。脆く、かぼそい、一瞬しか現れないものかもしれない。但し、それは「素直」なところから生まれます。「素直」さはまた、「思い」を豊かに受け入れます。人が齢を重ねながら素直さを持ち続けることは、きつとらくだが針の穴を通るより難しい(?)でしょう。しかしキリストがひとりの幼子に指して、「天国はこのようなもの、の国である」とおっしゃったのは、私の頑なな心をひらき素直にしてくれるメッセージです。そしてキッドスクールの子どもたちが、そのような心を実際に見せてくれるのです。

世界は、「思い」や「願い」が形をとって私たちを取り巻いています。よいものも、そうでないものも。しかし全ての思いが形をとれるわけではありません。そんな中で、何にも囚われず、自由に思い、願うことのできる存在、それが「幼子」であると聖書の中に感じます。ひとの心を動かす「思い」というのは、必ずしも強固なものとは限りませ

私の仕事は、幼子の「思い」に耳を澄ませるところから始まります。そしてその自由な「思い」「願い」を、どのようにして結実させていくか、そのお手伝いをさせていただくかで、彼らの「心の引力」に私の心が動かされるのです。喜びと共に。恵みと共に。  
(聖救主教会キッドスクール教諭)

## 常置委員会報告 (10月14日)

\* 教区フェスティバル終了、2  
神学生の主日勤務指令、聖職候  
補生の執事志願受理等、予定を  
含む諸事項の主教報告。

\* 主教の聖ジョージ教会巡回日  
程(09年2月)、聖職不在教会へ  
の協働牧会体制の対応等、主教  
チャプレン報告。

\* 教務・財務・宣教各主事、宣  
教主事補による諸事項の報告。

\* 秋期教区会開催・信徒代議員  
補欠の扱い・議案等への確認と  
協議。09年度教区予算案(財政  
委員会)について11月4日に臨  
時常置委員会を開き、諮る。

\* その他

## 正義と平和協議会運営

## 委員会報告 (10月15日)

\* 「日の丸」強制問題に取組

む会(9月30日)報告。

\* 09年活動計画・予算案作成の  
協議と確認。

\* 協議会懇談会(9月17日・10  
月15日)の報告。

\* 聖公会平和ネットワーク全国  
大会(10月12日〜13日・京都・  
5教区32人)の報告。

\* オウルナムの会「聖公会  
生野センター訪問企画」支援  
につき協議。

\* その他。

## ◇秋のバザー情報5(11月)

2日(日) 聖救主10時〜15時

・聖ガブリエル12時〜15時

8日(土) 聖バルナバ11時半  
〜14時

9日(日) 聖愛12時半〜14時  
半・清瀬聖母11時〜14時

## 《今、この教会では…》

## 聖愛教会

先日、主日礼拝で夏に出生し  
た方の「誕生感謝の祈り」があり  
ました。お子さんを抱く若いご  
夫婦とご家族とともに、私  
たちも感謝の祈りを捧げまし  
た。教会も少子高齢化ではあり  
ますが、0歳から90歳代までの  
人々が揃っての礼拝に感謝で  
す。春に牧師の交代があり、管理  
牧師は鈴木裕二司祭、囑託司祭  
に佐藤信康司祭と新しい風をい  
ただきました。今は11月9日に  
行うバザーの準備やクリスマス  
礼拝式文の見直しをしているほ  
か、来年1月に迎える教会創立  
120周年に向けての準備委員  
会ができて、これからのことを  
考えています。(関ノリ子)

## 【学びと働きから】88

## ランベス会議報告(2)

主教 植田仁太郎

前回1回目の報告では、今  
回のランベス会議は決議をす  
る会議ではなく、修養会・勉強  
会という形をとったことを申  
し上げました。

実は、その勉強会のテーマ  
は、今日、主教たる者、それぞ  
れの問題に広い見識と洞察を  
もって教会を導いてゆくこと  
を期待されているので、実  
に多岐に涉っていました。その  
テーマのいくつかを挙げてみ  
ますと、「聖公会のアイデン  
ティティー」「今日の福音伝  
道」「社会の変革——社会正  
義」「他の諸教会との協働」「被

造物を守り育てる」「多元的世  
界に関わる」等々で、その中の  
ひとつの課題を検討・勉強す  
るだけで、一大協議会を開催  
する必要があるほど、重大な  
課題です。そして、これらの課  
題の呈示の仕方が、ただ勉強  
する課題だというのではなく  
て、もう私たち主教は、一緒に  
関わっているのですと(英語  
では)動詞を用いて表明され  
ています。「アイデンティ  
ティー」だったら、聖公会の共  
通基盤を「共に祝う」という表  
現になります。「福音伝道」  
だったなら、「共に宣べ伝える」  
と呼びかけます。ここには、今  
回のランベス会議全体の精神  
と意図である、あるテーマに  
ついて賛否を問うて見解の違

いが自ら明らかになることを  
避けて、もう私たちは充分に一  
緒に世の中の様々な問題、教会  
の問題に関わっているではあ  
りませんか、という姿勢が良く  
表れていると思います。

そういう勉強会の方向付け  
の中で、現在、全聖公会で最も  
ホットに論じられている課題  
について、それぞれ40人くらい  
のグループで意見交換をしま  
した。それらは、「聖書のもとに  
生きる——聖書と宣教」「互  
いに聞き合う——主教と人間の  
性」「共通のいのちを育てる——  
聖公会誓約への道筋」という  
ものです。

\* 以下次号。本稿は3回連載  
の企画で予定されています。